

京都のつばさ

日本航空の不当解雇撤回闘争勝利をめざす京都共闘会議

第36号

2017年2月22日

京都府京都市中京区壬生仙念

町30-2 ラポール京都5F

京都総評気付

TEL075-801-2308

FAX075-812-4149

E-mail:sinamu2002@yahoo.co.jp

この1年で、JAL 争議勝利もぎ取ろう！ 京都争議支援総行動で京セラ・稲盛財団へ！

2月17日、「2017年春・労働争議支援京都総行動」が京都総評、JAL 闘争京都支援共闘などを中心に行われた。JAL 乗員原告団・客室乗務員原告団を先頭に京都市内にある稲盛財団と京セラ本社に、他の京都で闘う青いとり・全厚生・明治乳業・全印総連プリントパックの仲間の闘いなどと結合して申し入れをし、早朝から晩まで抗議宣伝行動を行い、大勢の仲間が参加した。

京都市中心部繁華街：四条烏丸にあり、「稲盛経営哲学」を学ぶという盛和塾も入居する大きなビルのワンフロアすべてを使用する稲盛財団は、JAL 闘争京都共闘やJAL 不当解雇撤回原告団の代表者らに対し、対応するメンバーは全く変わり、申し入れ代表の名刺を最初はつかえすありさまで、「解雇に伴う不当労働行為事件の行政訴訟では最高裁決定も出ているし、稲盛和夫さんは最高責任者として解決に責任を持つ」と、要請団は文書を手渡した。



<京セラ本社に怒りのシュプレヒコール>

<稲盛財団・稲盛理事長に解決に向けた申し入れ>

京セラ本社前では、要請団が京セラ名誉会長でもある稲盛和夫・JAL 名誉会長への要請書を京セラ本社に持参すると、すぐに社内応接室に案内し総務部担当は受理をした。外では40人近い地元の支援の仲間が申し入れ代表団激励のマイクを取り、伏見地区労・国労・JMITU・全厚生闘争団などの連帯挨拶が続けられた。

最後に、JAL 客乗原告団の城戸団員の発声で、京セラ本社百メータービルに向かって、勝利めざして闘う決意をこめた、怒りのシュプレヒコールで締めくくった。不当労働行為事件での最高裁決定を勝ち取った今、何としても勝利解決をもぎ取ろうと原告も共闘も一体となった闘いを取り組んだ。

総行動前日には、東京で国民支援共闘総会・集会在200名参加して開催され、その前段の地方参加者含めた相談会にも京都支援共闘から参加・出席し、この一年で勝利するため、解雇時の最高責任者：稲盛和夫氏の責任追及を問う全国行動の呼びかけも行った。(I)